

## 高度化事業における信用リスク管理体制について（正常償還先管理）

01

### ■ 不良債権の更なる抑制

高度化事業貸付金の債権管理において、不良債権化を抑制し貸倒損失のリスク低減するためには、確実な貸付審査に加え、貸付後の正常償還にある段階から信用リスク管理の観点を踏まえた債権管理を実施することで早期に予兆を把握し、償還状況の悪化を防ぐ必要があります。



02

### ■ 正常償還先管理ラインの立ち上げ

令和元年度より条件変更先や延滞先となっていない貸付先を管理する「正常償還先管理ライン」を高度化事業管理課内に設置し、継続的なモニタリング(※1)、経営状況把握(※2)や経営支援(※3)など債権管理を実施しています。



03

### ■ 正常償還先の管理方法について

- ・都道府県ヒアリング(※1継続的なモニタリング、※2経営状況把握)において、①都道府県による正常先管理態勢、②正常先の経営状況や課題及び今後の方針など、最新の状況を確認いたします。
- ・決算書等による財務分析(※2経営状況把握)において債務超過の傾向や償還状況悪化の兆候など予兆先を把握し、都道府県担当者と協議しながら、条件変更ライン及び経営診断統括室と連携した経営支援(※3経営支援：巡回調査・助言等)を実施します。



04

### ■ 今後の活動について

都道府県ヒアリングによる継続的な貸付先の経営状況など現状の把握、財務分析等により予兆先の把握、条件変更ライン及び経営診断統括室との連携、機構サポーターによる経営支援や実態バランス把握チェック表作成支援（巡回調査・助言）など都道府県の正常償還先に係る債権管理のフォローアップを実施します。

